

再編交付金支給を主張

参院外交委に
仲里副知事 不払い発言けん制

米軍再編推進法案の審

議の参考にするため来県
中の参院外交防衛委員会

のメンバーが十五日、県

た。

庁で仲井真弘多知事らと
意見交換した。米軍普天
間飛行場移設問題と同法
案との関連で仲里全輝副
知事は「(地元の)合意

普天間移設問題へのス
タンスについて、仲里副
知事は「名護市や周辺市
町村、現県政を含め、現
実的な枠組みを踏まえ、

金は)当然交付すべき」
と述べ、在日米軍再編へ
の協力度合いに応じた地
方自治体への交付金支給
を柱とする同法案への見
解を表明した。

がないから交付金の支給
対象にならないと発言す
る関係者もいるが、それ
はおかしい」と主張、名
護市や県が代替施設の滑
走路の沖合移動を求めて
いることを理由に、交付

基本的にはV字形案はや
むを得ないと思ってい
る。しかし、住民生活へ
の影響を考え、可能な限
り沖合へと求めている」
と説明。その上で「負担
を強いられるのであれ

仲井真知事は普天間飛
行場の名護市キャンプ・
シユワブ沿岸部への代替
施設建設について「名護
市が受け入れるとなれば
その方向に行かざるを得
ないと思っている。しか
し、(名護市は)なるべ
く海へ出してもらいたい
というのがある」と述

金の不払いを示唆する一
部政府関係者をけん制し
意味合いもある。(交付

と述べ、滑走路の沖合移動を
重ねて要請。さらに、普
天間飛行場については
「返還までに全体の運用
を下げていくことが必
要」と強調、三年をめど
にした閉鎖状態の確保を
求めた。

求めた。